



とりづか あきら

鳥塚 亮

区 分	鉄道事業者関係
居 住 地	千葉県
所属・役職	いすみ鉄道株式会社 代表取締役社長

相談方法・連絡先

相談方法	メール
相談可能日時	随時
メールアドレス	torizuka@isumirail.co.jp

取組の概要

- ・いすみ鉄道における2年間の存続検証期間中、公募を経て社長に就任し、沿線商店街関係者による応援団等地元と良好な関係を築きながら、存続に向けて物品販売やネーミングライツ等即効性のある増収策を打ち出し、地域鉄道の再生に取り組んだ。
- ・豊富な人脈を活かし、沿線地域の恵まれた自然環境に着目したアニメキャラクターの登用やイベント列車の導入等観光鉄道化に取り組んだ。

本人の言葉

どのようにしたら鉄道を存続できるかということで取り組んできました。無理なく車と共存することが1つのあり方だと思います。旧来の交通概念に捕らわれることなく新しい切り口でトータルに考えていくことを提案していきたいと考えています。

略歴等

- 昭和59年3月 明治大学商学部卒業
- 昭和63年8月 大韓航空
- 平成 3年1月 ブリティッシュエアウェイズ
- 平成 7年2月 (有)パシナコーポレーション代表取締役
- 平成14年4月 ブリティッシュエアウェイズ旅客運航部長
- 平成21年6月 いすみ鉄道(株)代表取締役社長 現在に至る

取組の内容、先進性・独創性

- いすみ鉄道における2年間の存続検証期間の最中、民間経営者の登用を行い鳥塚亮氏が社長となり、再生に取組む。
- いすみ鉄道の経営改善には、合理化や経費削減が限界に達していることから、攻めの積極経営への転換を図る。そのため即効性を求めた物販事業と本格的な観光鉄道化への取組みを推進した。
- 沿線の恵まれた自然環境に着目し、ムーミンのキャラクター列車を導入。(ムーミン谷)
- 社会人を対象とした運転手の募集を行い、「少年時代の夢」を叶えるため訓練費用を自己負担とした発想。
- キハ52の導入と併せ、沿線の昭和レトロの風景とマッチングさせた構想。
- サポーター・オーナー制度、駅名命名権(ネーミングライツ)を実施。又、社長ブログ等情報発信。

地域の活性化等への貢献度

- ムーミン列車の導入により客層が変化し、若い女性や子供連れが増え、沿線の活性化に繋がっている。
- ムーミンショップの開設によりムーミン列車応援団が結成され、商店街(国吉駅周辺)が活気づいてきた。
- いすみ鉄道が地域の広告塔となり、知名度を全国版にする話題づくりに務めた。
- 地域のイベントに積極的に参加し、地域と連携した「まちおこし」の一翼を担っている。

知識・経験・熱意、地域の取組みでの存在感

- 根っからの鉄道マニアで、列車の前面展望画像のDVD制作にも携わり、全国の路線を踏破する。その知識や経験、人脈を活かし、熱意をもっていすみ鉄道社長に応募する。地域鉄道の存続に人生を賭けるといった意志が伝わる。
- いすみ鉄道活性化の取組みへの姿勢が評価され、市町の議会や区長会等での要請も多く、又、経営団体や学校等での講演にも声がかかり、広くいすみ鉄道への関心を高めている。
- 沿線の商店街関係者で組織されたムーミン列車応援団等地元と良好な関係を築き、積極的な支援活動展開に貢献している。

先達としての活動

- H22. 6. 12 地域鉄道フォーラム 公募社長サミットin東京
- H22. 11. 10 第45回夷隅地方社会教育振興大会講演
「ローカル線と地域の活性化」
- H22. 11. 29 鉄道・運輸機構主催 第13回鉄道に関する講演会
「いすみ鉄道のすばらしい観光資源」
- H22. 12. 6 (社)千葉県経営者協会、(社)日本経営士千葉支部
共催セミナー「ローカル線は心の栄養剤」

いすみ鉄道(株)の概要

(1) 会社概要 (H 23.1現在)

名称 いすみ鉄道株式会社
所在地 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜264番地
代表者 代表取締役社長 鳥塚 亮
資本金 26,900万円(発行済株数 5,380株)
要員 30名

(2) 鉄道事業概要

営業区間 大原～上総中野(内燃、26.8キロ)
駅数 14駅
車両数 内燃動車7両
運行回数 35本(大原方面17本、上総中野方面18本)



マイスターの主な取組み及び成果

(1) 鳥塚亮氏の主な取組み

① 副業による増収策の推進

いすみ鉄道の存続検証期間中、早急に結果を出すことが求められる状況下で社長に就任し、駅への売店新設、Webショップの開設、駅のネーミングライツ導入等、即効性のある増収策を展開。

② 目玉商品創出による集客

自らの人脈を活用し、アニメキャラクターを活用した車両の導入や、JRで退役した気動車を購入しイベント活用するなど、世間に注目されるような話題を提供して集客力を向上。

③ 地域との連携

ムーミン列車導入を契機に、地元商店会を中心に、「ムーミン列車応援団」が誕生、応援団と連携した列車内でのコンサート開催など、様々なイベントを展開。

④ 鉄道にかける熱意の周知

夷隅地方社会教育振興大会、公募社長サミットin東京等での講演活動などを通じ、鉄道にかける自らの熱い思いやローカル線を活用した地域活性化方策などを周知。

(2) 取組みの成果

様々な増収策やイベントを展開した結果、平成22年度中間決算で、運輸雑収入は前年同期の9倍超、輸送人員も同期の3%強に増加している。



①いすみ鉄道ホームページ



①駅のネーミングライツ



②ムーミン列車



③フォークソング列車



②キハ52撮影会



④公募社長サミット